

平成29年第3回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成29年3月24日(金)
午後3時00分～午後4時45分(休憩5分)
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員
教 育 長 吉 原 孝
教育長職務代理 三 宅 義 雅
委 員 山 崎 裕 行
委 員 田 中 保 和
委 員 近 藤 温 子
4. 出席した職員
教 育 部 長 尾 野 晋 一
教 育 監 三 浦 正
次長兼教育総務課長 中 川 拓 也
次長兼社会教育課長 石 垣 好 啓
文 化 財 課 長 桑 野 一 幸
ス ポ ー ツ 推 進 課 長 一 松 孝 博
公 民 館 長 酒 谷 敬 三 郎
図 書 館 長 岩 佐 昌 史
学 務 課 長 松 田 成 史
指 導 課 長 野 間 浩 一
こども未来部長 己 波 敬 子
こども未来部次長 小 林 由 幸
こども政策課長 磯 部 賢 二
事務局教育総務課 寺 川 款
事務局教育総務課 大 畑 嘉 平
5. 議事案件
議案第10号 平成29年度柏原市立学校園管理職人事及び柏原市教育委員会事務局指導主事等人事について
議案第11号 平成28年度大阪府中学生学びチャレンジテストの結果の公表内容について

6. 報告事項 他

7. 会議録の承認及び会議の要旨

吉原教育長： ただ今より、平成29年第3回定例教育委員会会議を開催いたします。

本日の会議録署名委員は、山崎裕行委員、よろしくお願ひします。次に、平成29年第2回定例並びに第1回臨時教育委員会会議録について、何かご意見はございますか。

委員全員： (意見・異議等なし)

吉原教育長： それでは、平成29年第2回並びに第1回定例教育委員会会議録は承認することといたします。続きまして、本日の議事に入ります。本日の議案は2件ございます。まず、議案第10号につきましては、人事案件でありますので、非公開にて審議したいと思ひますが、各委員におかれましてはご異議等ございますか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： それでは、議案第10号の「平成29年度柏原市立学校園管理職人事及び柏原市教育委員会事務局指導主事等人事について」は非公開とし、教育委員会と事務局担当課とで、後程審議することといたします。それでは、議案第11号について、事務局・野間指導課長より説明をお願いします。

野間課長： 議案第11号「平成28年度大阪府中学生学びチャレンジテストの結果の公表内容」について指導課よりご説明申し上げます。別添の冊子をご覧ください。調査の目的を府の要項通り、前年度と変わってはございません。続いて「調査の概要」ですが、中学1年生の国語・数学・英語の3教科とアンケート調査、2年生については国・数・英に加え理科A/B、社会A/B/Cとアンケート調査でございます。2ページ以降は各学年・教科別の調査結果となっております。赤のレーダーチャートが本年度の結果となっております。青のレーダーチャートが昨年の中学1年生の成績となっております。府の平均正答率である緑のレーダーチャートを「1」として市の平均点を数値化したものでございます。中学1・2年生とも府の平均を下回る結果となっております。しかしながら、4ページの英語科におきましては、書くこと、記述式等に成果がみられました。こちらの平成27年度と平成28年度の生徒は、同一生徒ではございません。公表内容には、含まれませんが、同一生徒で昨年度と今年度で経年変化をみてみますと、「書くこと」「記述式」等について大幅に改善が見られ、大阪府全体を上回る結果となりました。昨年度からのほぐくみプランにおいて、普遍的な柏原の幼小中一貫教育の取組をすすめ、効果的な取組を共有するとともに、中学校区ごとに指導主事を配置するなど、積極的に学校現場に出向き、現場と委員会と連携など市全体で取り組んできた成果が現れたと考えております。8ページ以降は、各教科の教科別のアンケート調査となっております。全体的に教科を肯定的にとらえている生徒は大阪府と大差がみられません。しかしながら、英語科は、柏原市全体の課題と考えておりますので、来年度も小中一貫の重点項目として取り上げ、取り組んでいきたいと考えております。以上、チャレンジテストの公表につきまして、ご審議をお

願いいたします。

吉原教育長： それでは、この議案につきまして、ご質問等ございますか。これは、このままの様式で公表するのですか。広報ですか。

野間課長： PDF化しまして、ホームページに掲載します。

吉原教育長： 確かにこれは、異なった学年で27年と28年の比較をすることにどれだけの意味があるのか疑問もありますが、昨年もですが、毎回この形式で出していますよね。それでしたら、先程野間課長が言われた事（説明）を、追記でどこかに載せておくと分かりやすいと思います。

野間課長： 経年比較でしょうか。

吉原教育長： 1年生が2年生になってどうなったかなど分かるように。見られる方は、去年と比べてどうなったかと捉えるでしょう。ベースが違う比較になっていることを誤って把握されるのではないかと思います。

野間課長： では、同一生徒の経年比較を加えるということですね。

三宅委員： 2年生の場合はチャートで経年比較が読み取れる訳ですから、そのことを文章で表現しておけばよいと思います。別のデータとして示さなくても分かりますと、示しておけばどうですか。

吉原教育長： データの読み間違いがあると困りますので、昨年もこのデータで出しているのですから、このデータはこのまま示して、文言で追記しておけばよいと思いますがいかがでしょうか。

山崎委員： そう思います。学校は、経年比較してどう伸びたか、何処が課題なのかなど分析しています。それに基づいて、教員は指導内容を検討していると思います。大切なところは、学校が（分析結果から）どう取り組むかですから、細かい数値をお示しするよりも文言で説明する方がわかりやすいでしょう。ただ、学校はしっかり取り組んでもらわないと困ります。

野間課長： それでは、文章での説明を追記させていただきます。

田中委員： 細かい点ですが、7ページのチャートとそれ以外のチャートを比べますと、中に記載されている数値が細かく（小数点以下が）なりすぎています。これは統一した方がよいでしょう。

野間課長： わかりました。

三宅委員： 英語は1年、2年ともかなり回復しましたね。

吉原教育長： 改善したとはいえ、去年の中学1年はよくなかった。中学校に入って初めて英語を習う時点で、他市と差が出てしまったということですね。これは、授業までいかない英語の取組みが、本市の堅上みたいに他市でも一定進んでいるのかもしれない。何らかの、英語に対する親しみを学校生活の中で得られるようにしていきたい。

野間課長： はい。小学校英語への取組みは大事ですから、なんとか変えていきたいと思えます。

三宅委員：英語については最初に躓くところいう状態になってしまいます。だから、楽しみながら勉強できる機会を増やしてみる。学校以外のところでもできればそのような機会を作ってあげるとか。例えば、教育大に來ている留学生と触れ合うことで、少しでも英語で話ができるようになればと思います。そういう機会をつくっていったら、楽しみながら、学んで行けると思います。

野間課長：小学校なのですが、ALTを集めて、英語村のようなことを考えています。

三宅委員：是非、それはやっていただきたいです。近畿大学の英語村を3月の大学休みを利用して、地元の子供達などに一般公開する時間があります。一度、そういうものも参考にしてみることも、良いかと思ひます。

山崎委員：教育長も以前からおっしゃっているのですが、「PDCA」をしっかりとやっていただきたい。もちろん、学校も教育員会も一定されていると思ひます。ここ（教育委員会会議）にはいつも結果が出てくるのですね。「チャレンジテストの結果」「学力テストの結果」「体力測定の結果」というふうにてできます。がんばっている部分、足りない部分などはよくわかるのですが、「具体的に取組むこと」「こういうことを学校にやらせてみます」そして、教育委員会会議で「やらせてみたらこうなりました」と報告がある。というような、お話を聞かせていただきたいものです。ぜひ、具体的な計画を指導課から教育部長、教育監にあげていただきたい。指導課の方は、学校現場に行っているわけですから、意見は沢山お持ちのはずです。これを吸い上げていただいて、指導課でまとめてくださって、具体的にPDCAサイクルに沿った動きをしていただきたい。そうしないと、変わらない、いつまでも同じことを言っているようなこととなります。非常に難しいことを申し上げていると思ひますが、ぜひとも変えていただきたい。

田中委員：最後のページ（13ページ）はタイトルだけで学校としてはどうしたらよいかわからないですね。例えば、今日おくばりいただいている、学校教育の重点目標の何ページに関連しているとか、なにか載せないと、掛け声みたいでわからないです。「本当に深刻に考へているのか」と捉えられかねないので、工夫をお願いします。もう一点は、13ページの各項目は体言止めなので「。」はいらないです。

野間課長：わかりました。

尾野部長：今、山崎委員がおっしゃったことの1つとしまして、はぐくみプランの中で、毎年、年度当初に学校計画書の作成を各学校にさせていますので、それを検証することが一つ答えになると思ひます。これはいつ出てくるのでしたか。

野間課長：3月末までです。

尾野課長：ですから、それがどうであったか検証してどんな結果になったか見ることが出来ます。学校側のプランに対して、どの様なことが出来たのかはこれで見れると思ひます。そのうえで、教育委員会としてはどうしていくか議論できると思ひます。あまり、教育委員会ばかりが動いても、現場がついてこない場合もござひます。

山崎委員：これは、議案にならないと思いますので、来年度に入って、まとまったら、教育委員会議の後でも少し時間をとってお聞かせくださいますか。

尾野部長：はい。報告させていただきます。

吉原教育長：具体的に示すことは非常に大事です。先週と今週の初めで、評価育成面談を各校長先生としました。その中で、各学校の取組で「これは（よい）」というのがいくつかあるのですね。それぞれの地域で各学校特色を出して取り組んでほしいということは、これまで市教委が言ってきたことと思いますが、その中のいい取組みは情報共有するといいと思います。例えば英語などは小学校単位で、小5、小6の英語の助走の期間中に何か、英語に興味を持たせる取組をしているとか。中学校ごとに、そこに上がってくる小学校の、5年、6年の取組を見たら、繋がりがわかってくると思います。先の面談で、「評価表を各校長先生は、共有されているのですか。」と聞いてみましたが、されていないということでした。これを共有してあげたら、よい取組みを参考に出来るのです。直接、そのまま見せることは抵抗があるかもしれませんが、ピックアップして共有し、去年出来なかったことは今年する、今年出来なかったことは来年どうするかしっかりと検証していくとか。各市とも、学力の向上に取り組んでいるようですが、人材の育成以外にノウハウの習得に腐心されているように思います。他にご意見はございますか。

近藤委員：この、アンケート調査結果ですが、「授業の内容はよく分かる」のところで、1年生は大体大阪府と同じか少し上なのですが、2年生は随分大阪府よりも低くなっています。これは、今年の結果なので、2年生の子が1年生の時どうであったかは分かりませんが、2年生の子が、去年はよく分かったのに、今年は分からないということであれば、悲しいことと思ひまして、授業が分からないと成績はあがりませんから、大阪府の平均よりあがるように頑張っていたきたいです。

吉原教育長：個別の学校ではそれなりに分析もされていることと思いますが、全体になってきたときにどうかということはあると思います。個々の学校は、「何をしたからこうなった」「何をしなかったからこうなってしまった」という分析を一度加えたうえで、いいと思われる取組みを推奨してみるとか、ルーティン化することも検討してみたらどうかと思います。他にございますか。

尾野部長：3月16日の授業研ですが、初めて中学校各教科の先生に集まってもらって、教科ごとに各学校で研修会を実施しました。これは、授業はどうあるべきかを中学校の先生同士が考えるきっかけとなるものと、ご報告させていただきます。

吉原教育長：非常に好評でありました。ただ、来年は開催時期を考える必要があるようでした。

野間課長：校長先生方にも好評でした。来年度は11月とか、校長先生の方で日程を考えてくださいます。

吉原教育長：校長先生方の意見も踏まえてやってください。ただ、11月にやってみてよかったからといって、ずっと同じことをやるのではなしに、毎年改善していく姿

勢を市教委の方から示していくことが大事です。他に意見はございますか。

委員全員：（意見等なし）

吉原教育長： それでは、議案第11号について、原案を一部修正して承認してよろしいですか。

委員全員：（異議等なし）

吉原教育長： それでは「議案第11号 平成28年度大阪府中学生学びチャレンジテストの結果の公表内容について」は、一部修正の上、承認することにいたします。ここでの議事案件は以上です。続いて、報告事項に移ります。事務局の方、報告すべき事項はありますか。

礒部課長： 【幼保連携型認定こども園開園に向けた、平成29年度幼保の人事交流に関する選考結果】について報告

吉原教育長： 他に報告事項はありますか。

各課：（報告事項なし）

吉原教育長： 報告は以上です。それでは、次月の予定を確認します。次回、平成29年第4回の定例教育委員会会議は、4月7日（金）午後3時00分からの開催といたしますが、よろしいですか。続きまして、第5回の定例教育委員会会議の予定をしておきたいと思っております。各委員のご予定はいかがですか。

（教育長、各委員 日程調整）

吉原教育長： 第5回の定例教育委員会会議の予定は、5月12日（金）でよろしいですか。

各委員：（了承）

吉原教育長： ここで一旦休憩とさせていただき、再開後に議案第10号について審議したいと思います。

【暫時休憩】

吉原教育長： それでは、教育委員会会議を再開いたします。議案第10号について、事務局・松田学務課長から、説明させていただきます。

松田課長：（案件について説明）

吉原教育長： ご意見・ご質問はございますか。

—質疑応答—

吉原教育長： 審議の結果、議案第10号について原案のとおり承認してよろしいか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： 議案第10号の「平成29年度柏原市立学校園管理職人事及び柏原市教育委員会事務局指導主事等人事について」は原案のとおり承認することにいたします。以上をもちまして、平成29年第3回定例教育委員会会議を終了します。本日はありがとうございました。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成29年3月24日

柏原市教育委員